



## 60 鳳凰之図

結城素明 対幅 大正14年(1925)  
絹本着色 本紙各173.1×71.2

内閣総理大臣はじめ、国務大臣より献上。桐に鳳凰という、伝統的な吉祥画題をここまでモダンに、鮮やかに描いた結城素明(1875~1957)は、日本画、洋画を学んで文展、帝展を中心に活躍し、東京美術学校の教授などを務めた。

<展示 第1期-20>

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に<sup>1</sup>出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

祝いわい美のび——大正期皇室御慶事の品々

三の丸尚蔵館第45回展覧会

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 野崎印刷紙業株式会社

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十九年九月二十九日発行

©2007, The Museum of the Imperial Collections